

2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月8日

上場会社名 株式会社 シダー
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 座小田 孝安
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下屋敷 寛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	7,097	1.8	244	22.6	103	40.9	50	64.4
2018年3月期第2四半期	6,973	12.4	316	488.1	175		141	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 50百万円 (63.1%) 2018年3月期第2四半期 138百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	4.37	
2018年3月期第2四半期	12.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	17,677	1,116	6.3	97.25
2018年3月期	18,035	1,110	6.2	96.81

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 1,116百万円 2018年3月期 1,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		4.00	4.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,346	3.5	620	15.9	328	31.0	204	8.5	17.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	11,476,000 株	2018年3月期	11,476,000 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	137 株	2018年3月期	137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	11,475,863 株	2018年3月期2Q	11,475,914 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資は底堅く推移し、雇用・所得環境の改善により長く低迷していた個人消費も持ち直しに向かうなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外においては、米中間の貿易摩擦の影響が今後懸念されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

介護サービス業界においては、高齢社会の進行に伴い、介護サービスの需要は一層拡大することが予想されます。また、2018年4月の介護報酬改定では改定率0.5%のプラスとなっており、「質の高いサービス」や「自立支援・重度化防止に資するサービス」については1.0%相当のプラス改定が行われております。一方で給付の適正化で0.5%のマイナス部分もあり今後どのように事業の運営を行っていくのかが問われる改定となっております。

このような状況のもと当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）におきましては、収益面では、主に前事業年度に開設した施設において、新規利用者の獲得と充実したサービスを提供すること等、施設稼働率の向上に努めました。利益面では、景気の回復傾向に伴う人件費の上昇、及び既存施設の修繕費用などにより、原価が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は70億97百万円（前年同四半期比1.8%増）となり、営業利益は2億44百万円（前年同四半期比22.6%減）、経常利益は1億3百万円（前年同四半期比40.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50百万円（前年同四半期比64.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①デイサービス事業

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努めてまいりましたが、介護報酬改定の影響もあり、売上高は17億30百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益は1億73百万円（前年同四半期比34.6%減）となりました。

②施設サービス事業

当セグメントにおきましては、既存有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は49億17百万円（前年同四半期比4.3%増）、セグメント利益は6億円（前年同四半期比21.9%増）となりました。

③在宅サービス事業

当セグメントにおきましては、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりましたが、売上高は4億14百万円（前年同四半期比5.3%減）、セグメント損失は51百万円（前年同四半期はセグメント損失30百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は32億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円減少しました。この主な要因は、現金及び預金が2億16百万円減少し、売掛金が1億3百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は144億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億30百万円減少しました。この主な要因は、有料老人ホーム及びデイサービス施設の建物及び構築物が1億25百万円、リース資産が1億9百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は50億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ90百万円増加しました。この主な要因は、短期借入金が45百万円、賞与引当金が36百万円増加したことによるものであります。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は115億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億53百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が3億94百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産は11億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金が4百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は176億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億57百万円減少しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて2億16百万円減少して6億46百万円となりました。また、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は3億86百万円（前年同四半期比28.2%減）となりました。その主な内訳は、収入要因として、税金等調整前四半期純利益1億3百万円、減価償却費3億2百万円、支出要因として、売上債権の増加額1億3百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は1億58百万円（前年同四半期比50.0%減）となりました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出1億40百万円、預り保証金の返還による支出45百万円、収入要因として、預り保証金の受入による収入47百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、使用した資金は4億43百万円（前年同四半期比422.3%増）となりました。その主な内訳は、支出要因として、短期借入金の返済による支出10億40百万円、長期借入金の返済による支出3億65百万円、収入要因として、短期借入れによる収入10億85百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月14日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	863,027	646,490
売掛金	2,271,752	2,375,051
その他	208,774	195,455
貸倒引当金	△2,410	△2,582
流動資産合計	3,341,144	3,214,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,200,494	5,074,970
土地	2,204,476	2,291,838
リース資産(純額)	4,345,481	4,236,359
その他(純額)	121,414	114,343
有形固定資産合計	11,871,866	11,717,511
無形固定資産	58,332	67,469
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,170,195	2,163,350
その他	593,589	516,289
貸倒引当金	△88	△1,528
投資その他の資産合計	2,763,696	2,678,111
固定資産合計	14,693,895	14,463,091
資産合計	18,035,039	17,677,507

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	227,170	212,124
短期借入金	2,600,000	2,645,000
1年内返済予定の長期借入金	731,256	759,996
未払法人税等	115,150	81,700
賞与引当金	195,062	231,944
その他	1,099,635	1,127,915
流動負債合計	4,968,275	5,058,680
固定負債		
長期借入金	5,354,203	4,959,835
リース債務	5,299,739	5,218,309
退職給付に係る負債	377,061	405,082
その他	924,779	919,531
固定負債合計	11,955,783	11,502,758
負債合計	16,924,058	16,561,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	372,305	376,592
自己株式	△33	△33
株主資本合計	1,112,582	1,116,868
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△800
その他の包括利益累計額合計	△1,600	△800
純資産合計	1,110,981	1,116,068
負債純資産合計	18,035,039	17,677,507

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
売上高	6,973,061	7,097,331
売上原価	6,182,660	6,277,448
売上総利益	790,400	819,883
販売費及び一般管理費	473,871	574,987
営業利益	316,528	244,895
営業外収益		
受取利息	5,746	5,476
受取賃貸料	6,681	7,047
その他	7,682	4,645
営業外収益合計	20,109	17,170
営業外費用		
支払利息	161,045	158,191
その他	280	235
営業外費用合計	161,326	158,426
経常利益	175,312	103,638
税金等調整前四半期純利益	175,312	103,638
法人税、住民税及び事業税	50,137	39,319
法人税等調整額	△13,071	14,129
法人税等合計	37,066	53,448
四半期純利益	138,246	50,190
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,837	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	141,083	50,190

（四半期連結包括利益計算書）
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
四半期純利益	138,246	50,190
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	50	800
その他の包括利益合計	50	800
四半期包括利益	138,296	50,990
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,134	50,990
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,837	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	175,312	103,638
減価償却費	303,281	302,371
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△200	1,611
賞与引当金の増減額（△は減少）	46,120	36,882
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	20,185	29,171
受取利息	△5,746	△5,476
支払利息	161,045	158,191
売上債権の増減額（△は増加）	△168,630	△103,298
仕入債務の増減額（△は減少）	△27,567	△15,046
その他	194,135	106,419
小計	697,937	614,466
利息の受取額	736	654
利息の支払額	△160,917	△158,372
法人税等の支払額	△6,452	△70,540
法人税等の還付額	6,873	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	538,176	386,207
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△312,447	△140,999
無形固定資産の取得による支出	△9,362	△20,553
敷金及び保証金の差入による支出	△2,123	△303
敷金及び保証金の回収による収入	297	125
預り保証金の返還による支出	△55,105	△45,033
預り保証金の受入による収入	61,635	47,983
その他	△148	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317,255	△158,781
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	800,000	1,085,000
短期借入金の返済による支出	△1,320,000	△1,040,000
長期借入れによる収入	830,000	—
長期借入金の返済による支出	△324,964	△365,628
非支配株主からの払込みによる収入	3,000	—
リース債務の返済による支出	△72,945	△77,693
配当金の支払額	△91	△45,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,000	△443,962
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	135,920	△216,536
現金及び現金同等物の期首残高	680,814	863,027
現金及び現金同等物の四半期末残高	816,734	646,490

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,790,725	4,713,290	437,704	6,941,721	31,340	6,973,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	93,384	93,384
計	1,790,725	4,713,290	437,704	6,941,721	124,724	7,066,445
セグメント利益又は 損失(△)	265,814	493,101	△30,072	728,843	13,194	742,038

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉用具事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	728,843
「その他」の区分の利益	13,194
セグメント間取引消去	△221
全社費用(注)	△425,287
四半期連結損益計算書の営業利益	316,528

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,730,407	4,917,883	414,365	7,062,657	34,674	7,097,331
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	196,707	196,707
計	1,730,407	4,917,883	414,365	7,062,657	231,382	7,294,039
セグメント利益又は 損失(△)	173,961	600,963	△51,559	723,364	29,240	752,605

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等
あります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	723,364
「その他」の区分の利益	29,240
セグメント間取引消去	△28
全社費用(注)	△507,681
四半期連結損益計算書の営業利益	244,895

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
1株当たり四半期純利益	12円29銭	4円37銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	141,083	50,190
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	141,083	50,190
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,475	11,475

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。